

癌化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **nab-PTX+アテゾリズマブ**
 対象疾患 PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌
 診療科 外科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1.15				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
② テセントリク	840mg/body		生食250mL	特記事項参照
③ グラニセトロン デキサート	3mg/50mL(1袋) 6.6mg/2mL(2A)		混注	15分かけて
④ アブラキサン	100mg/m ²		生食100mL	30分かけて
day8				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
② グラニセトロン デキサート	3mg/50mL(1袋) 6.6mg/2mL(2A)		混注	15分かけて
③ アブラキサン	100mg/m ²		生食100mL	30分かけて

2 投与方法の図式(day1.15)

時間 (hour)	0.5	1	1.5	2	2.5
① 生食	→				
② テセントリク	→				
③ グラニセトロンなど	→				
④ アブラキサン	→				

3 投与スケジュール
 1クール28日間。

4 特記事項

- ・ テセントリクは0.22 μ mのインラインフィルターを使用する。
- ・ テセントリクは初回60分で投与。忍容性が良好であれば次回30分まで短縮できる。
- ・ アブラキサン投与時にインラインフィルターを使用しないこと。
- ・ アブラキサンは人血液由来成分を含有しているため、事前に説明し、同意を得ておく。
- ・ アブラキサンを投与する際は投与速度を補正する。